平成26年度学術研究費助成事業【研究費助成】助成者一覧表

	機関	部署	専門	役 職	代表者氏名	研 究 題 目
1	岡山大学	大学院 社会文化 科学研究科	法学 (刑事訴訟 法)	准教授	原田 和往	被告人の主体的訴訟参加の意義について
2	岡山大学	大学院 医歯薬学 総合研究科	腫瘍生物学	准教授	片山 博志	オーロラキナーゼAが制御している遺伝子転写調節ネットワークの 網羅的解析
3	岡山大学	大学院 医歯薬学 総合研究科	分子生物学	准教授	阪口 政清	独自に開発した超高効率遺伝子発現プラスミドベクターの抗体大量 産生系への応用を目指した基礎研究
4	岡山大学	大学院 自然科学 研究科	生体材料学	助教	小西 敏功	自家骨に匹敵する早期骨修復能を備えた新規リン酸カルシウム人口 骨の創製
5	岡山大学	大学院 自然科学 研究科	ロボット工学	助教	佐々木 大輔	空気圧ゴム人口筋を用いた農作業支援用簡易型アシストロボットの 機構開発
6	岡山大学	大学院 自然科学 研究科	有機合成	助教	工藤 孝幸	ニトロアルケンへのα-アミノ酸エステルのマイケル付加反応を鍵 工程とする置換ピペラジノンの新規効率的合成法の開発
7	岡山大学	大学院 自然科学 研究科	有機合成化学	助教	萬代 大樹	新規血管新生阻害剤の合成と口腔癌および炎症性疾患領域における 阻害効果の検討
8	岡山大学	大学院 自然科学 研究科	有機合成化学	准教授	光藤 耕一	電気的な反応点制御に基づいた集積的カップリング反応による有機 半導体分子の探索
9	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	土木史	准教授	樋口 輝久	江戸期の巨石樋門・倉水門の撤去に関わる記録保存および文献調査
10	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	地盤工学	助教	金 乗洙	河川堤防の安全な維持管理のための総合的照査方法の確立
11	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	農村生態学	准教授	中田和義	国内希少野生動植物種スイゲンゼニタナゴの繁殖生態解明と保全技 術の開発
12	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	水工水理学	准教授	吉田 圭介	GPGPUによる平面2次元浅水流モデルの高速演算に関する研究
13	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	地盤工学	助教	珠玖 隆行	地質統計学と論理モデルに基づいた地質モデリングに関する研究
14	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	食品生物化学	准教授	中村 宜督	分裂促進因子活性化タンパク質キナーゼ制御を分子基盤とした新規 抗アレルギー性食品因子に関する研究
15	岡山大学	地域総合研究セン ター	政治学	助教	岩淵 泰	岡山市西川緑道公園における持続的なまちづくりに向けた実践研究 ーアメリカ・ポートランド市のBIDと市民参加の国際比較-
16	岡山大学	資源植物科学研究 所	植物分子育種学	助教	久野 裕	オオムギの形質転換に必要なゲノム領域の同定
17	岡山大学	資源植物科学研究 所	植物分子遺伝学	助教	池田陽子	植物の生殖細胞におけるDNAメチル化動態に関する研究
18	岡山大学	資源植物科学研究 所	植物育種遺伝学	非常勤 研究員	氷見 英子	もち麦の品質向上を目指した植物色素合成メカニズムの解明
19	岡山大学	廃棄物マネジメン ト研究センター	地盤工学	准教授	小松 満	小型半導体チップ型センサーによる土中水分量の計測手法の開発
20	岡山県立大学	保健福祉学部	生化学 細胞組織学	准教授	山本 登志子	自然薯のプロスタグランジンE2合成系抑制による抗炎症・抗腫瘍 効果
21	岡山県立大学	保健福祉学部	応用微生物学 食品酵素科学	准教授	中島・伸佳	「食品素材や化粧品素材」としての「高機能化ポリフェノール誘導体」の環境に優しい「次世代型酵素的合成システム」の開発
22	岡山県立大学	情報工学部	運動解析	助教	大山 剛史	上肢の運動制御における筋機能に着目した左右差に関する研究
23	 岡山県立大学 	情報工学部	応用健康科学	准教授	綾部 誠也	小中学生の学力向上に貢献する運動・スポーツの条件に関する研究 〜持久的スポーツ競技と学習の集中力の関連性の検証〜
24	 岡山県立大学 	情報工学部	光・量子エレクト ロニクス	教授	徳田 安紀	積層型金属スリットアレイの光学的性質とその応用
25	 岡山県立大学 	情報工学部	画像工学	准教授	山内 仁	エネルギ保存を考慮した超高画質画像変換手法とその応用に関する 研究
26	岡山県立大学	デザイン学部	ITコンテンツ	講師	齋藤 美絵子	実感を伴う水害用デジタル避難ガイドの開発
27	岡山県立大学	デザイン学部	建築	教授	岩本 弘光	建築家ジェフリー・バワの建築言語に関する研究
28	岡山理科大学	理学部	細胞生物学	准教授	片岡 健	がん抑制遺伝子REIC/Dkk-3による表皮幹細胞のストレス応答制御機 構の解明
29	岡山理科大学	理学部	構造有機化学	講師	岩永 哲夫	高効率な発光を目指した有機蛍光材料の開発
30	岡山理科大学	工学部	情報工学	教授	島田 英之	情景画像と大規模点群の対応付けによる拡張現実指向G I Sの開発
31	岡山理科大学	生物地球学部	生物地球学	准教授	佐藤 丈晴	航空レーザー測量データに基づいた大規模崩壊危険度評価手法の開 発
32	岡山理科大学	生物地球学部	考古理化学	教授	白石 純	自然科学的手法により備前焼のルーツを探る一邑久窯跡群の発掘調査から-

平成26年度学術研究費助成事業【研究費助成】助成者一覧表

	機関	部署	専門	役 職	代表者氏名	研究 題目	
33	津山工業高等専門学 校	電子制御工学科	電子制御工学	教授	鳥家 秀昭	有害野生獣多頭捕獲艦のゲート閉鎖用遠隔制御装置の開発	
34	 川崎医療福祉大学 	医療技術学部 臨 床工学科	情報工学	助教	近藤 真史	非同期式直列演算器に基づいた超低消費電力デジタル補聴器の開発	
35	川崎医療福祉大学	医療福祉マネジメ ント学部 医療情 報学科	医療情報学	助教	三田 岳彦	ICFを活用した在宅重症児(者)の生活実態・社会資源の調査	
36	川崎医科大学		微生物学	助教	塩浜 康雄	HTLV-1由来のHBZ蛋白を標的とした新規HTLV-1関連疾患の発症予防・治療法に関する研究	
37	就実大学	薬学部	生化学、薬剤学	准教授	松尾 浩民	創薬基盤のための後期エンドソーム内リン脂質ドメインの機能解析 に関する研究	
38	倉敷芸術科学大学	生命科学部	運動免疫学	講師	椎葉 大輔	高脂肪食摂取による肥満の形成はGas6阻害により制御できるか?	
39	吉備国際大学	外国語学部	社会開発学	教授	橋本 由紀子	ソーシャルビジネスの評価の在り方-インドの事例から社会開発へ のインパクト測定をする	
40	吉備国際大学	外国語学部	分析化学	准教授	大下 浩司	油彩画、日本画、染色品に使用される色材の簡易分析法の開発	
41	吉備国際大学	保健福祉研究所	生化学	準研究員	小柳 えり	パルミトオレイン酸誘導性心筋ミトコンドリア機能障害と性差の関 連性	
42	美作大学	短期大学部	食品学	教授	桑守 正範	アケビ由来発酵酵素液中に含まれる微生物の同定と機能性の検討	
43	重井医学研究所		分子遺伝学	主任 研究員	松山 誠	糖尿病性腎症モデルマウスを用いたSfrplの病態的意義の解明	
44	岡山大学	理学部	地質学	教授	鈴木 茂之	3Dレーザー測量を利用した斜面崩壊危険個所抽出の開発	
45	岡山理科大学	総合情報学部	デジタルゲーム研 究	講師	山根 信二	オープンソースライセンスでの3Dデータ活用に関する調査研究	

平成26年度学術研究費助成事業【海外渡航費助成】助成者一覧表

	機関	部署	専門	役 職	渡航者氏名	渡航先	渡	舟亢	的
1	岡山大学	大学院 自然科学 研究科	有機合成化学	助教	前田 千尋	トルコ イスタンブール		国際会議参加・ 体触媒を用いた	
2	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	無機機能材料科学	助教	西本 俊介	スイス ローザンヌ		会国際会議参加 骏化チタンナノ	×中で超撥油
3	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	環境工学	准教授	永禮 英明	米国 ミシガン		会出席・研究発 際会議発表と共	本のオゾン分
4	岡山大学	大学院 環境生命 科学研究科	動物生殖生理学	助教	山本 ゆき	フランス パリ		参加・発表(ウ クチビンAの分	
5	岡山大学	資源植物科学研究 所	分子生化学	准教授	杉本 学	ロシア モスクワ		委員会出席・発 ・ネットワークの	で生育する植
6	岡山県立大学	情報工学部	感性工学	助教	瀬島 吉裕	英国 エディンバラ		・口頭発表(音 の盛り上がり推	
7	岡山理科大学	生物地球学部	都市気候学	准教授	大橋 唯太	イタリア ベネチア		イランド対策国 市ヒートアイラ 評価)	

平成26年度学術研究資金助成事業【留学生研究資金助成】助成者一覧表

	大学名	所属	専 攻	在学区分	応募者名	国 籍	研究題目
1	岡山大学	大学院自然科学研 究科	電子情報システム	修士	キム ボンス	韓国	遅延耐性の大規模無線LANの実現
2	岡山県立大学	大学院	保健福祉科学	博士	シュレスタ ジョシ ア ルチャナ	ネパール	ネパールの看護の質の向上に関する研究
3	岡山理科大学	大学院	情報工学	修士	コウ コウイ	中国	マルチキャストを使ったマルチメディアシステムの開発 と評価